

図書館が館を離れて情報発信

～地域情報をいかに編集し、発信するか～



奈良県立図書情報館（奈良県奈良市） <http://www.library.pref.nara.jp/>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	奈良市大安寺西1-1000
電話番号	0742-34-2111
人口（図書館が所在する市町村）	36.3万人
職員数（うち有資格者数）	44人（32人）
蔵書数	643,461冊
登録者数	79,046人
年間貸出冊数（H24）	331,779冊

目的・趣旨

当館は、県の施設として、県の情報を網羅的に収集・保存し利用に供する施設であるとともに、館がもつリソースを“地域情報”や“観光”というキーワードで再編集したとき、一体どのような情報発信が可能か、またどんなことができるかという視点で取り組んできた。

取組概要

<地元ホテルとの連携>

新たな情報発信型のサービスを創出する試みとして、地元のホテルとタイアップし、当館館長の選んだ奈良関係書籍を宿泊者向けに貸し出す「文庫」をホテル内に設置。

ホテルの全客室にブックリストが備えられ、宿泊客は、フロントに申し出ると、自室まで希望の本を届けてもらえ、チェックアウトまでの間、閲覧利用することができるサービスである。

<図書館がつくる奈良本>

「図書館が奈良本をつくったら?」というコンセプトで『読み歩き奈良の本』（140B刊2010.3）を出版した。

<情報誌『ナラヲヨム』企画・編集>

図書情報館が企画・編集し、地元企業が発行するフリーペーパー。年2回、6,000部発行。館自身が館を飛び出して、取材し、発信する。官民連携の試み。（2005年11月創刊、現在第16号、題字:紫舟）

特徴

- ・その時々県のトピックなども勘案しながら、また、各本の利用状況を見ながら、本の入れ替えを行っている。例えば、2012年は古事記完成1300年の年であり、ラインナップも古事記関連のものに入れ替えて提供した。本によって利用の多寡はあるが、コンスタントな利用がある。



全客室に配置されているブックリスト

- ・「奈良を舞台にした小説でたどる奈良」、「奈良出身の映画作家河瀬直美さんの映画でたどる奈良」、「奈良のキーマンでたどる奈良」など、一般の観光案内書ではあまり取りあげられない視点から奈良を紹介する本であり、図書館からの情報発信の試みでもある。



- ・「ならのこなもん」、「ならでつくる」などトピックを設定して、企画・編集している。地元企業との協働により、新たな「奈良」を発信する、ユニークな情報誌。



取組の成果と今後について

・ホテルには50冊貸し出しされており、年間の貸出実績は、延べ300～400冊程度で、宿泊客の需要は高いと考えられる。また、ホテルとの連携から生まれたサービスとして、当館イベントの宿泊プラン設定がある。

・館自身が地域の財ともいべきものを掘りおこし、編集し、発信するという新たな企画を視野に入れながら、続けていきたい。